

様式第8（第10条関係）

令和2年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

白第1830号  
令和3年2月9日

岐阜県知事 古田 肇 様

住所 岐阜県大野郡白川村鳩谷517  
氏名 白川村長 成原 茂



令和2年5月1日付け水資第34号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について岐阜県電源立地地域対策交付金交付要綱第10条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

- (注)(1) 別紙は次の事業評価総括表及び事業評価個表の様式によること。  
(2) 用紙の大きさは、日本産業規格に定めるA4とし、横位置とすること。

別紙

I. 事業評価総括表(令和2年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	保育園運営事業	白川村	18,621,718	17,255,000	
2	地域活性化措置	診療所運営事業	白川村	18,403,815	17,000,000	
3	地域活性化措置	保健推進事業	白川村	2,484,229	1,500,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	地域活性化措置	保育園運営滋養				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		白川村				
交付金事業実施場所		白川村大字荻町地内 他1件				
交付金事業の概要		白川村内保育園の保育士5名分の人件費(4月から1月までの給料及び12月期末・勤勉手当) 白川村は、第2次総合戦略に基づき、晩婚化や核家族化、産後の仕事復帰が早まっている情勢から、未満児を中心に保育サービスのニーズはさらに増加することが見込まれる。こうした情勢に対応するため、電源立地地域対策交付金を活用し、保育士の確保に注力、村の保育所利用の待機児童0を継続します。				
交付金事業に関する主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 白川村第2次総合戦略(令和2年度～令和6年度) 3、(まち)結婚・出産・子育ての希望を叶える -二重の相互秩序の構築- 施策③子育ておよび仕事との両立と教育を支援する 目標 要保育児の入所率 100%(令和2年度) ※要保育児の入所率 : 入所者数÷入所対象人口×100				
事業開始年度		2年度	事業終了(予定)年度	6年度		
事業期間の設定理由		白川村第2次総合戦略の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和3年度	
		要保育児の入所率 100%(令和2年度)	要保育児の入所率 入所者数÷入所対象人口×100	成果実績	%	100
				目標値	%	100
				達成度	%	100.0
		評価年度の設定理由				
		年度ごとに事業を行っており、年度により要保育児の入所者数を確認できるため				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	保育士の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月))		活動実績	人月	60	50	50
			活動見込	人月	70	50	50
			達成度	%	85.7	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備考			
総事業費	19,673,564	17,937,198	18,403,815				
交付金充当額	19,000,000	16,000,000	17,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	19,000,000	16,000,000	17,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
保育士人件費		雇用		保育士5名		18,403,815	
交付金事業の担当課室	教育委員会 保育園						
交付金事業の評価課室	教育委員会 保育園						

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。

(4) 交付金事業に関係する主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている自治体の上位政策・施策とその目標を記載すること。

(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。

(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する自治体の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に定性的な成果を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に定性的な成果及び評価を記載すること。

(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

(8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

(9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。

(10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。

(11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。

(12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
2	地域活性化措置	診療所運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		白川村				
交付金事業実施場所		白川村大字荻町地内 他1件				
交付金事業の概要		白川村内診療所の医師1名看護師2名分の人件費(4月から1月までの給料及び12月期末・勤勉手当) 白川村は第2次総合戦略に基づき、いつまでも住み続けたい村づくりのために、「村外の機関との連携を図り、村で受けられるサービスの種類を増やす」等に対応するため、電源立地地域対策交付金を活用し、他の市町に比べ引けを取らない水準以上の医療サービスの提供に努めます。				
交付金事業に関する主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 白川村第2次総合戦略(令和2年度～令和6年度) 3、(まち)結婚・出産・子育ての希望を叶える -二重の相互秩序の構築- 施策④医療・介護や専門的サービスを充実させ、買い物の利便性を高める 目標 確実な診療サービスを提供するため、午後以降の受診率の割合を高める。 現状 20%→目標値 30%(令和2年度)				
事業開始年度		2年度	事業終了(予定)年度	6年度		
事業期間の設定理由		白川村第2次総合戦略の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和3年度	
		確実な診療サービスを提供するため、午後以降の受診率の割合を高める。目標値30%(令和2年度)	受診率(%)	成果実績	%	86
				目標値	%	30
				達成度	%	286.7
		評価年度の設定理由				
		年度ごとに事業を行っており、年度により受診率を確認できるため				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	医師・看護師の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月))		活動実績	人月	40	30	30
			活動見込	人月	40	30	30
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備考			
総事業費	18,755,073	16,774,079	16,774,079				
交付金充当額	18,575,000	16,440,000	16,440,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	18,575,000	16,440,000	16,440,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
医師・看護師人件費		雇用		医師1名・看護師2名		18,371,255	
交付金事業の担当課室	村民課 診療所						
交付金事業の評価課室	村民課 診療所						

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。

(4) 交付金事業に関係する主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている自治体の上位政策・施策とその目標を記載すること。

(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。

(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する自治体の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に定性的な成果を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に定性的な成果及び評価を記載すること。

(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

(8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

(9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。

(10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。

(11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。

(12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	地域活性化措置	保健推進事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		白川村				
交付金事業実施場所		白川村大字荻町地内 他1件				
交付金事業の概要		<p>栄養士1名分の人件費(4月～1月までの給料及び12月期末・勤勉手当)                  白川村は、ヘルスプランしらかわ21(第2次)に基づき、基本目標である健康寿命の延伸に向け、「生活習慣病の発生予防と重症化予防の徹底」や「生活習慣病の改善」等に対応するため、電源立地地域対策交付金を活用し、日常生活が制限される状態(介護が必要な状態)となる人の割合の減少に努めます。</p>				
交付金事業に関係する主要政策・施策とその目標		<p>ヘルスプランしらかわ21(第2次)(平成27年度～令和4年度)                  基本目標 健康寿命の延伸                  平均寿命の伸びを重視するだけでなく、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命の延伸を目指す。                  そのために、脳血管疾患等の予防に努め、日常生活が制限される状態(介護が必要な状態)となる人の割合の減少を目指します。                  目標 特定健康診査の受診率60%以上(令和2年度)                  特定保健指導の終了率60%以上(令和2年度)</p>				
事業開始年度		2年度	事業終了(予定)年度		4年度	
事業期間の設定理由		ヘルスプランしらかわ21(第2次)の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和3年度	
		受診率60%以上(令和2年度) 終了率60%以上(令和2年度)	受診率(%)	成果実績(受診率)	%	64
				成果実績(終了率)	%	65
				目標値	%	60
				達成度(受診率)	%	108.3
				達成度(終了率)	%	106.7
		評価年度の設定理由				
年度ごとに事業を行っており、年度により受診率等を確認できるため						
交付金事業の定性的な成果及び評価等 本事業により、保健師1名、管理栄養士1名の人員を確保する事が出来た。これにより特定健康診査等の各種健(検)診をはじめとする保健事業の充実が図れている。また個別訪問による保健・栄養指導の実施している。 次年度の改善としては、健診受診の周知・推奨を強化することにより、村内の健康意識の向上につながる事が期待 評価に係る第三者機関等の活用の有無 無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	栄養士の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月))		活動実績	人月	20	20	10
			活動見込	人月	20	20	10
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備考			
総事業費	5,317,362	3,734,708	2,484,229				
交付金充当額	4,500,000	3,734,708	1,500,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,500,000	3,734,708	1,500,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
栄養士人件費		雇用		栄養士1名		2,484,229	
交付金事業の担当課室	村民課 村民健康福祉係						
交付金事業の評価課室	村民課 村民健康福祉係						

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。

(4) 交付金事業に関係する主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている自治体の上位政策・施策とその目標を記載すること。

(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。

(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する自治体の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に定性的な成果を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に定性的な成果及び評価を記載すること。

(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

(8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

(9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。

(10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。

(11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。

(12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。